

親子聖書日課

[日]「小さなお願いだから、断らないで！」と頼まれても、OKしてはならないことがあります。それは神の子としての生き方を捨てることです。この世の付き合いに誘われても、「私には教会がありますからダメです」と断りましょう。初めが肝心です。

[月]ソロモンは政敵を殺すことで、王国を揺るぎないものにしましたが、それは権力のある間だけでした。しかし、主は殺されることによって、彼の王国を揺るぎないものにしました。主は権力の上ではなく、愛の上に建てたので、神の国は永遠です。

[火]「何事でも願うがよい。与えよう」と言われたら、何を願いますか。ソロモンは民の幸せを願って「聞き分ける心」を主に求めたので、この心だけでなく、富も栄光も与えられたのです。正しく聞き分ける心(知恵)こそ、私達がまず求めるものです。

[水]ソロモンの大岡裁きとして大変有名な個所です。神の知恵を頂く時、どんな難問も見事に解決します。神の知恵は御言葉を聴くことによって与えられますから「聖書日課」に励みましょう。正しい判断を行うのを見た人に、主を証しできます。

[木]神の知恵に満ちたソロモンでも、一人では国を治められません。そこで色々な人を様々な役職に任じ、国を治めたのです。神の国の働きも同じです。皆で力を合わせてこそ、教会が建て上げられるのです。どんな奉仕も喜んで行いましょう。

[金]ソロモンは豊かな知恵だけではなく「海辺の砂浜のような広い心」も神から与えられたので、世界中の人と交わることができました。主の福音に生きる時、敵をも愛することができます。私達の狭い心を、十字架によって広くしてくださったのです。

[土]ソロモンの神殿建築は用意周到でした。石を寸法どおり切って運んだので、音もなく建て上げられたのです。教会を建て上げるために「よく準備された石」が必要です。準備のない奉仕、ざわざわした礼拝では、神の声は聞こえません。



NO.1827 2023.10/1-7 名前

	聖書	問題	答え
日	列王記上 2:12-27	主がエリの家についてお告げになったことがどうしましたか。	
月	2:28-46	王国はソロモンの手によって、どのようなものになりましたか。	
火	3:1-15	ソロモンは「この僕にどんな心をお与え下さい」と願いましたか。	
水	3:16-28	何が王の内において正しい裁きを行ったので、民は王を敬いましたか。	
木	4:1-20	ソロモンはイスラエル全国に、12人の誰を置きましたか。	
金	5:1-32	ソロモンは誰のために神殿を建てようと考えましたか。	
土	6:1-38	神殿の建築は、石切り場で、どんな石を用いて行われましたか。	
			感想と祈りの課題